

平成 20 年 9 月 2 日

第 2 回誠愛院内勉強会

日時 : 平成 20 年 10 月 7 日 17:30~18:30

場所 : 新棟研修室

テーマ:「脳血管障害患者の転倒要因と対策」

誠愛リハビリテーション病院 副院長、看護部

金山 萬紀子

平成 11 年ごろから医療事故が続発し、医療の質の保証のためにリスクマネジメントの取組みが始まりました。川村らの平成 11 年度の「医療のリスクマネジメントシステム構築に関する研究」では、療養上の世話に関連する事例が全体の約 3 割で、その半分が転倒転落事例であったと報告しています。当院の調査においても、転倒・転落事故が事故報告の約 7 割を占めていました。「転倒」は、頭部外傷や骨折などの重大事故につながるだけでなく、リハビリテーションの阻害因子となります。したがって、転倒を予防し安全に ADL を拡大していくことが看護の重要な役割の 1 つとなることは言うまでもありません。そこで、脳血管障害患者の転倒の実態を調査し、転倒要因を明らかにするとともに転倒予防について検討を行いました。

転倒の要因については、病棟の物理的環境、患者の要因、看護者の要因、職場環境などが報告されていますが、当院においても同様の要因が明らかになりました。転倒予防策として、物理的環境の調整、患者の障害の種類や程度と転倒との関連に対する看護者のアセスメント能力の育成、転倒多発時刻を考慮した看護職員の配置の試みなど、今までの当院の「転倒」の取組みについて紹介します。